

○高等植物分布資料 (116) Materials for the distribution of vascular plants in Japan (116)

○ヨコグラノキ *Berchemia berchemiaefolia* (Makino) Koidz. 宮城県白石市小原虎岩は「ヨコグラノキ北限地帯」として国の天然記念物に指定されている。ところが1982年、白石植物愛好会の保谷忠良・仲村得喜秀・佐藤信夫氏らによって、七ヶ宿町アリア岳(海拔 633 m)に本種が自生しているのが見いだされた。この自生地は、虎岩よりも約 4.1 km ほど北西に離れ、約 3.6 km ほど北に位置するので、現在のところ真の北限地である。この点については白石市植物誌(1983)で軽くふれられているが、筆者は1984年10月21日、庄子邦光・浅野 修氏らと共にその自生地を確認することができた。海拔約 530 m の当自生地は、切り立った岩崖から落下した岩礫が堆積しており、地形から見るとあたかも風穴地帯の様相を呈している。ケヤキやオノオレカンパを主体とし、オオバクロモジ、リュウブ、オオヤマザクラ、ウリハダカエデ、マルバアオダモ、ハンドイ、ヤマウルシなどで構成される落葉広葉樹林内にヨコグラノキが点々と生えている。低木層及び草本層は種類数、個体数ともに貧弱である。当日は約 200 m² の地域を観察し、胸高直径 10.8 cm, 樹高約 4 m の個体を最大に7個体の本種が確認できた。この環境は広い面積を占めているので、更に多くの個体が生育しているものと期待される。虎岩の自生地と共に、アリア岳の北限自生地も安全に保護していきたいものである。なお、標本は東北大学理学部生物学教室植物標本室(TUS)に寄贈した。

(白石市立福岡小学校 上野雄規 Yuki UENO)

□Round, F.E. & D.J. Chapman: **Progress in phycological research. vol. 3** 400 pp. 1984. Elsevier Sci. Publ. b.v. ¥ca. 35,000. 藻類について、最近長足の進歩が見られる分野の研究成果を総説的に収録・刊行するシリーズものの成書で、1巻は1982年、2巻は1983年にそれぞれ出版されている。各巻は400頁前後で、1巻は8章、2巻は10章、3巻は7章から成る。幾つかの章の題目を列挙すると下記のようなものである。1巻 緑藻クロロコクム目の化学分類、藻類の石灰化の機構、藻類と菌類の共生、緑藻ボルボックス目の有性生殖、シアネラ(cyanellae)の生理・生化学と微細構造、寄生紅藻の生物学、2巻 ラフィド藻ヴァキュオラリア属について、淡水藻の金属に対する反応、海産プランクトン集団に及ぼす重金属の影響、有毒渦鞭毛藻類の生物学と生態学、東アフリカにおける有用藻類の探索、3巻 珪藻の運動、褐藻特にヒバマタ目の進化について、淡水紅藻の生物学、珊瑚礁の生物と藻類の役割、鞭毛性緑藻の眼点、など。価格は1巻33,150円、2巻36,000円。(千原光雄)